

みんなとともに笑顔いっぱい



# みんなとともに



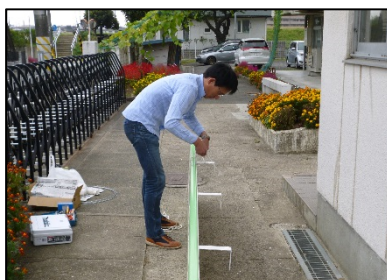
学習発表会まで一週間。校長室にも、各学年で練習する声や歌、音楽が聞こえてきます。学校における「行事」の力は大きく、子どもたちの「パワー」がぐんと高まります。ぜひ、学習発表会にお出でいただいて、子どもたちの一生懸命な姿を見ていただきたいと思います。そして、励ましの拍手や言葉をいただければ、幸いに思います。お待ちしております。



## 「みんなとともに スマイルミッション」

「百周年記念事業」実行委員会 総務部長の氏家雅彦さんが、本校百周年を“周知”するための看板をつくってくださり、10月16日(火)に設置しました。(設置についての許可は市教委より受けています。)

この看板を見て、地域の方の気運も高まることを願っています。なお、後日、網代実行委員長が、この看板をバックに、新聞社の取材を受ける予定となっています。



## 「持久走大会」へむけて

朝、校庭へ行くと、子どもたちが自主的に走っていました。また、昼休みも他の遊びをせずひたすら走る子どもたちの姿が見られました。「持久走大会」という「新たな目標」を見つけて、子どもたちはがんばっています。子どもたちへの応援をよろしくお願いします。

なお、持久走大会は、11月9日(金)に行われます。

## 【校長のつぶやき】 その10 「子どもの“キャラ設定”は変わるのか？」

人は、誰もが、自分の人生の“主人公”として生きている。人生を一つの“ドラマ”に例えるならば、主人公(自分)の“キャラ設定”をして演じている、とも言える。

では、自由に“キャラ設定”ができるかと言うと、そうでもない。表面を繕ってみても、根本的なところは変わらない。というも、私がそうだからである。だから「おまえのキャラ設定はダメだから変えろ」と人に言われても、「分かりました。今から変えます。」とはならない。

でも、そんな自分でも「キャラ設定を少し変えてみようかな」と思うときがある。それは“他人の生き方”に触れて、「そのキャラ設定いいな」「あんなふうになってみたいな」と思ったときである。

本校の子どもたちは「自己肯定感が低い」ことが課題の一つである。まずは「あなたのキャラ設定とってもいいね」という気持ちを伝え、その後「わたし」を変えることから始めるのが大切なのかな。

